



トライアル

令和元年11月25日（月）
四季が丘小学校 研究推進便り

11月22日（金）に、広島県教育委員会義務教育指導課の玉木昌知指導主事、廿日市市教育委員会の福島千恵子指導主事をお迎えし、学力フォローアップ校事業第4回授業研究会を行いました。

第3学年の国語科「ほけんだよりを読みくらべよう」の活用場面として自作資料「けん玉だよりを読みくらべよう」を活用した授業を提案しました。

今回の研修では、つまずきの要因分析をもとにした支援や手立てが有効であったかを検証することができました。対象児童がいきいきと自信をもって学習に向かうことができたのは、課題のある児童への手立てや支援を児童の実態から丁寧に考えて授業に取り入れることを積み重ねてきた結果です。

今回の研修での学びを、前回の成果と課題を受けた今後の取組につないで整理しました。さらなる共通理解を図り、日々の授業改善と第5回の授業研究会につないでいきたいと思えます。



前回の研修を受け設定した内容	第4回授業研究会での成果と課題	今後に向けて
①つまずきの要因分析として取り入れた内容を明記していく。	①「つまずきの要因をつかむために取り組ませた習熟プリント集の問題」を明記した。	①つまずきの要因分析がさらに充実し、対象児童の変容を具体で見取ることができた。系統性とのつながりも明確になった。
②個別の指導計画は実態・取組・今後に向けた課題のつながりが見えるようにする。	②「こういう手立てをすると、このような変容が見られた」という内容が分かるように形式をさらに改善する。	②取り組んだ内容について具体例を取り入れて書いていく。（例：通級学級で行った身振りと言語を連動させて捉えさせたことをイラスト付きで明記する。）
③F U対象児童や配慮の必要な児童がどこで何につまずいているのかという学びの過程を丁寧に見取り、困難さの状態に対する支援ができるように、要因分析から予想される児童のつまずきとその手立てを想定しておく。	③「発表くん」、「まとめるくん」「読みくらべくん」といった、ヒントカードやワークシートの活用により、対象児童が自信をもって発表することができた。今後、ヒントカードやワークシートの配付をどのようにしていくかということについて考えていく必要がある。	③ヒントカードやワークシートの「どこが」「どのように」よかったのかを児童の実態から捉えていく。（例：「読みくらべくん」は2つを並べて比較させて思考に合わせてまとめさせたのがよかった。） ヒントカードやワークシートはステップに応じて脱却できるようにしていく。 「みんなに配る→必要な児童に配る→児童に自ら判断させる→なくても大丈夫！という過程を取り入れる。



国語科、算数科に限らず、どの教科でも、自分の考えを相手に確実に伝えるために、考えを裏付ける「わけ」を説明することを学びのルールとし、しっかりと取り入れていきましょう。

「研修の振り返り」より ～授業改善に向けて取り組むこと～

・本時のねらいをしぼり、明確にすること。そして、そのねらいをその時間内で全員が達成できるための手立てを考え、取り入れること。



・子どもの実態をもう一度よく見ること。どこにつまずきがあるのか、それはなぜか、目の前の子どもにたずねてみること。目的をしっかりとって、授業に入る、入らせる。

・「目の前の児童の実態に合わせて」という言葉が心に残りました。教材研究をするとき、そこまで深く考えていなかったなあ・・・と思いました。ただ、教科としての力はつつつ、FU対象児童も取り組めるようにすることの難しさを感じています。



・まずは、目の前の児童の実態をしっかりと把握しようと思いました。例えば、児童の学習定着状況やつまずき、何でつまずいたのかを理解したいと思います。児童の実態を把握したうえで、授業の目的を達成するための手立てを考えていこうと思いました。

・FU対象児童にわかりやすい授業は、すべての児童の学力向上につながるというユニバーサルデザイン的な考えをしっかりと取り入れて、目の前の児童の実態からできることを考えていきたいです。手立ては限りなくあるという気持ちでやりたいです。

お知らせ

・第5回の学力フォローアップ校事業授業研究会は、12月12日（木）に行います。西部教育事務所の小迫課長、舞指導主事、市教委の福島指導主事が来校されます。1年2組で算数科「たすのかな ひくのかな」の授業を提案します。当日や模擬授業の日程は、後日お知らせします。



・児童アンケート及び授業改善振り返りシートについて

児童アンケートの実施・提出をありがとうございました。結果を見て、どんなことを感じられたでしょうか。全体の傾向として1回目よりも成果が出ているように思います。しかし、少数ですが「あてはまらない」を選んだ児童が存在します。「数値の向こう側に一人一人の子どもがいる」ということを心にとめて、日々の教材研究・具体的な支援や手立てを考え、取り入れていきましょう。

授業改善振り返りシート等の締め切りは、11月29日（金）です。よろしくお願いいたします。

・11月19日（火）にフォローアップ校事業連絡協議会が行われました。2年目の取組のまとめに向けた実践交流や協議の中で、本校の取組が好事例として紹介されました。これからも自信をもって実践を進めていきましょう。担任の先生方は、変容が分かる資料（テスト・ノート等）の保管をお願いします。1月末～2月中頃の期間で、学力フォローアップ校事業指定校20校の第2学年の児童を対象とした令和元年度「新たな学力調査」先行調査が実施されます。お知りおきください。